

「心と指が完全に一致し、どんな音楽でも 自在に操ることができる真の音楽家」 (グラモフォン誌)

ピアノ

田所光之マルセル Marcel Tadokoro

2021年モントリオール国際コンクールのファイナリストを経て、2022年はヴァン・クライバーン国際コンクールでJ. ジョルダノ審査員長特別賞、サンタンデル国際コンクールでは第3位を受賞。

これまで読売日響、東京響、名古屋フィル、愛知室内オーケストラ、ウラル・フィル、ワロニー・ロイヤル室内管などと共演している。

日本人の父とフランス人の母の間に生まれる。パリ国立音楽院に満場一致の首席で入学。エッセールとボファールの両氏に師事し、ドビュッシー国際コンクールでは第2位を受賞。ほかにも数多くのコンクールで受賞を果たしている。その後もエコール＝ノルマル音楽院にてシェレシェフスカヤ、またエフゲニ・ボジャノフのもと、音楽にさらなる磨きをかけている。



©Shigeto Imura

指揮

松井 慶太 Keita Matsui



©Ayane Shindo

1984年青森県八戸市生まれ。3歳よりピアノ、15歳よりオーボエを学び、16歳のときにピアニストとしてポーランド国立クラクフ交響楽団と共演。東京音楽大学指揮専攻卒業。指揮を広上淳一、汐澤安彦の各氏に師事。2008年から2014年までNHK交響楽団の定期演奏会にて、シャルル・デュトワ、チョン・ミョンフン、ファビオ・ルイーゼ、トゥガン・ソヒエフらの公演の合唱指揮者を務めた。2009年第15回東京国際音楽コンクール〈指揮〉にて入賞、奨励賞を受賞。

2024年3月には、名古屋フィルハーモニー交響楽団の第521回定期演奏会に代役指揮者として出演。公演まで1週間をきったタイミングでの依頼であったが、作曲家藤倉大の世界初演作品を含むプログラムを変更無く実施し、楽団より高い評価を得た。2025年4月よりオーケストラ・アンサンブル金沢のパーマネント・コンダクターを務める。

神奈川フィルハーモニー管弦楽団 Kanagawa Philharmonic Orchestra

1970年に神奈川県を本拠地とする唯一のプロ・オーケストラとして発足。地域に密着した音楽文化の創造をミッションとして、神奈川県全域をはじめ、全国各地で幅広い活動を続けている。1978年に一般財団法人、2014年には公益財団法人として認定されている。

横浜・川崎を中心とする定期演奏会や特別講演会、県内各地を回る巡回公演などの主催公演を開催。音楽教育にも積極的で、小中学校での音楽鑑賞教室を全国各地で開催し、広い世代に音楽の魅力を伝え、また医療機関や特別支援学校への出張演奏も行っている。1989年神奈川文化賞、2007年NHK地域放送文化賞、横浜文化賞、2022年地域文化功労者表彰をそれぞれ受賞。

2020年には創団50周年を迎え、現在、指揮者陣には、音楽監督に沼尻竜典、名誉指揮者に現田茂夫、特別客演指揮者に小泉和裕を擁し、人気・実力ともに益々注目されているオーケストラである。



© 藤本史昭

~Access~



綾瀬市オーエンス文化会館

〒252-1107 神奈川県綾瀬市深谷中1丁目3番1号

■海老名駅 (小田急小田原線、相鉄線、JR相模線)

- 東口から「相鉄バス」5番のりば「綾51系統 綾瀬市役所行き」(乗車時間約20～30分)→「市民文化センター前」下車すぐ
- 東口から「相鉄バス」3・4番のりば各経由「綾瀬市役所行き」(乗車時間約20～30分)→「綾瀬市役所」下車 徒歩5分

■さがみ野駅 (相鉄線)

- 南口から「神奈中バス」「さ02系統 吉岡工業団地行き」(乗車時間約20分)→「市民文化センター前」下車すぐ

■長後駅 (小田急江ノ島線)

- 西口から「神奈中バス」市役所または文化センター経由「綾瀬市役所行き」(乗車時間約20分)→「市民文化センター前」下車すぐ